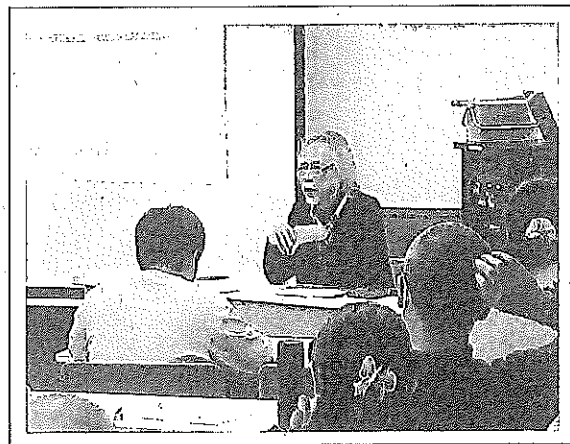
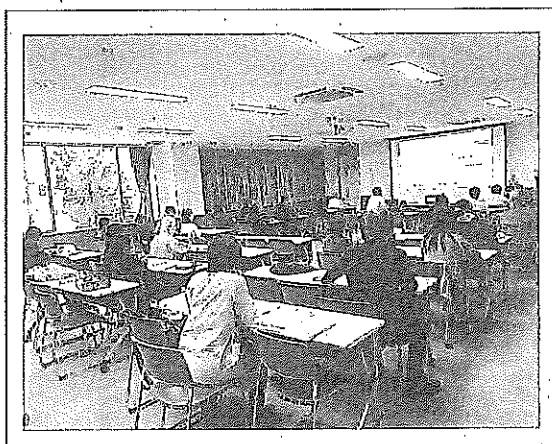


小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

<p>事業名</p>	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー</p>
<p>団体名</p>	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原</p>
<p>事業の内容</p>	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていきます。令和7年度は、特定非営利活動法人遊悠楽舎 代表理事の明石 紀久男さんをお招きしてセミナーを催した。また、年度内に数回のミニセミナーを実施。</p> <p>①ミニセミナー 場 所：おだわら市民交流センター 概要（内容）：5月9日（金）「人手不足の時代、障害者の「はたらく」をサポート」講師：障害者支援センターぱけっと 主任 狩野吉伸 7月11日（金）「就労移行支援事業所について」講師：就労移行支援事業所 My Piece おだわら 代表理事 稲山双葉 9月12日（金）「相続と遺言について」講師：司法書士 守屋智義 10月10日（金）「成年後見制度を学ぶ～相続を見据えて～」講師：行政書士 中條尚 2026年：1月9日（金）「財産の相続と管理の対策」講師：行政書士 長尾影正 3月13日（金）「障害年金更新のポイント」講師：小西一航 社会保険労務士 精神保健福祉士</p> <p>②セミナー 実施時期：令和7年11月9日（日） 場 所：おだわら市民交流センター 概要（内容）：特定非営利活動法人遊悠楽舎 代表理事の明石 紀久男さんをお招きしての講演</p>
<p>事業の成果</p>	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知をはかることが目的とした。セミナー参加者は次のような意見があった。お話の中で、「否定することではなく、肯定すること・認めていくことだろう。」「認められることによって、リラックスできるし、安心できる」、「責められて不安になれば、気持ちも縮こまれば心も狭くなる」といったお言葉が、身に沁みました。私の場合は、「子どもを認める、そして親御さんも自由になる」「親御さんが安心しないと子供は安心しない」との内容を実践すれば（具体的には、私の家庭での緊張感が解ければ）、少なくとも子供から見た家庭での居心地は、改善するかな、と思いました。地域の中で、障害者や障害を持つ方の家族の相談</p>

	<p>場所として、障害のある子の親なきあと相談室小田原の周知をはかることができた。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>令和7年度に、小田原市の市民活動応援補助金の助成を受けまして、年に1回の本セミナーと年数回のミニセミナーを継続的に運営実施していくことで、相談室の周知を図っていくことができました。本セミナーは、講師の言葉に共感したことは、学校教育が崩壊している、新自由主義的な考えに人々がはまってしまっている。コストパフォーマンスのことばかり気にしている。大人の不安が子供に影響を及ぼしている。働くことが当然である。ボランティア・家事をしている価値もある。生産性が高いかどうか考えてしまうのはおかしい。孤独だと頼れるものが家族だけ。現在の社会で親子関係や他者との関係において、対話と相互理解が不足しており、否定的な言葉が多用されていることを指摘した。講師は、引きこもりや不登校を選択する若者が実際には勇気のある行動を取っている可能性があるとして述べ、現在の社会的状況が家族関係に与える影響について深刻に考慮する必要があると強調した。弱さを乗り越えることの実は貴重で大切なものであることを強調し、強くなることの真の意味は、弱さを認められるようになることというメッセージはとても参加者に響いたと考えます。障害のある方とその家族、支援者が生きづらくない社会を作っていくことは、すなわちすべての人が生きづらくない社会を作っていくことにつながっていきます。社会が、温かく、優しい社会になることを願っています。障害者を他人事としてとらえるのではなく、自分のこととしてとらえられる人々を増やしていきたいと心から思います。</p>



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
セミナー参加費	35,391円	セミナー参加費会場 26人×990円、 ZOOM参加 11名(9,651円)
ミニセミナー参加費	17,000円	34人×500円
補助金	160,000円	市民活動・協働応援制度補助金
自己資金	36,722円	
収入合計	249,113円	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
チラシ印刷	5,400円	チラシ2,200部プリントパック
チラシ印刷ミニセミナー	2,510円	チラシ1,000部プリントパック
ポスター印刷	14,280円	ポスター400部プリントパック
デザイン制作	20,523円	デザイン制作・相談料 ココナラ
チラシ郵送料	46,545円	切手代・レターパック代
レジュメ印刷	0円	
宣伝費	66,000円	タウンニュース
講師謝礼	60,000円	明石紀久男氏へ
会場費	21,700円	UMECO 会議室1~3・プロジェクター等使用料と ミニセミナー
消耗品	12,155円	文房具等 インク
支出合計	249,113円	



親なきあとに必要なこと
どう備えればいいのか？

ZOOM参加も可能です

開催日の2日前までにお申し込みください

2025
5/9
(金)

人手不足の時代、障害者の
「はたらく」をサポート

障害者支援センターほけっと 主任 狩野吉伸

2025
7/11
(金)

就労移行支援事業所について

就労移行支援事業所 My Pieceおだわら
代表理事 横山双葉

2025
9/12
(金)

相続と遺言について

司法書士 守屋留雅

2025
10/10
(金)

成年後見制度を学ぶ
～相続を見据えて～

行政書士 中條尚

2025
1/9
(金)

財産の相続と管理の対策

行政書士 長尾彬正

2026
3/13
(金)

障害年金更新のポイント

小西一航 社会保険労務士 精神保健福祉士

詳細

時間：10時30分～11時45分
場所：おだわら市民センターUMECO
オンライン(ZOOM)での参加もOK
人数：先着10名
料金：500円(資料代)



ご予約は
こちらから



障害のある子どもの『親なきあと』 セミナー2025

主催：『親なきあと』相談室小田原

お問い合わせ
0465-46-6800
(平日10時～18時)

不登校・ひきこもりへの 対応について

一緒に考えましょう

～親をおりるとは～

参加お申込



会場参加はコチラ
(グループ話し合いあり)

ZOOM参加はコチラ



講師

NPO法人 遊悠楽舎 代表理事
明石紀久男さん

開催日時：2025年11月9日(日) 14:00～16:30(受付13:30～)

場所：おだわら市民交流センター-UMECO会議室1-2
参加費：900円

どなたも参加
できます。

UMECOアクセス ▶▶



明石紀久男さんのプロフィール

1999年「不登校児童やひきこもり者」とその家族の相談開始し、フリースペース遊悠楽舎開設。横浜市の若者支援施設で居場所づくりと相談員を務め、内閣府のモデル事業「パーソナルサポートサービス（横浜市）」に参加。一般社団法人インクルージョンネットかながわで代表理事も務めた。
現在は鎌倉市にて、ひきこもり支援指導員、「子ども寮センター」と「女性のための相談窓口」のスーパーバイザー、同社会福祉協議会の「連携的相談支援体制整備事業」アドバイザー、社会福祉法人きしろ社会事業会理事を務める。心理カウンセラーであり、風立して(させられて)いる家族全体を幅広く応援するソーシャルワーカーとして活動を続けている。2021年3月「親をおりる」(彰流社)を出版。

主催者 「親なきあと」相談室小田原
〒260-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-4ハビネス杉山305
TEL:0465-46-6900 mail:isuyoshiko.2017.m@outlook.jp

ホームページ



神奈川県立青少年センター、小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会 後援
令和7年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業